

学校の教育環境（PC一人一台、ICT機器）

（PC配布）

2020年12月より文部科学省のGIGAスクール構想の一環として又、コロナ禍での学びを保障する目的でコンピュータを1人1台配備開始。教育委員会が存在せず私立学校扱いの在外施設は受益者負担が原則となることから月額300,000Rp（約2,440円）を負担頂いています。

学校に充電用コンセントがないため、充電保管庫を設置し、充電できるようにしている。また、PC利用ルールに基づく使用を指導している。オンライン授業ではPCを持ち帰り家から使用するため予めオンライン会議システム（MS,Teams）を設定し安定してオンライン授業が受けられる環境を整備した。また、日本への一時帰国の際も、持ち帰りを許可している。

（ICT機器の配備）

ICTを継続して活用する教育体制の整備や在外施設特有の課題に対処し、コロナ禍における児童生徒の学習機会に与える影響を軽減する目的で ICT 機器の整備を2021年から進めた。文科省による 実証実験にも参加し費用を支援頂くと共に、学習・生活指導の充実や教師への研修等、教育の質の向上を図った。

2021年も文部科学省の支援があり引き続きICT機器を整備している。

整備した機器及び実証実験の実績は以下の通り。

	内容	2021年度に購入・準備した設備	2022年に準備した設備
1	今後感染がさらに拡大し、全員がオンライン授業をなった場合学校から 全クラス同時に オンライン授業を行う。	Wifiルータ 4台 無線インターネット増設（ 50M)	
2	オンライン授業であっても時間短縮（40分）せず 対面授業と同等の時間 で授業を実施する。	マイクロソフトTeams（配布PCへ導入）	
3	児童生徒全員に同じPCを配布 し、校内でも家庭でも使えるようにする。	全員分のエントリータイプPCの導入、設定 44台	追加PC20台購入、 充電保管庫の導入
4	対面授業では教室で、オンライン授業ではPCで、 書画カメラで写した拡大映像を見ることが出来る 。教室ではプロジェクター・スクリーンでの拡大映像、オンラインでも拡大映像を見ることができる。	小型プロジェクター6	小型プロジェクター6
		スクリーン9	スクリーン1
		書画カメラを設置9	プロジェクター台9
5	日本からの英語授業を受ける場合、PCルームなどに移動する事無く通常の教室で受講する。また、教室には Webカメラが設置されており発言者へのオートフォーカス などで日本の教員に現地の子供の映像が伝わるので適切な指導が出来る	教室にWebカメラ設置9	
6	1台の 電子黒板を移動させてどの教室でも利用可能 となる。双方向性の求められる授業で使う。	電子黒板移動用スクーン	
7	大型プロジェクタを体育館に設置 することで分散登校になった場合でも行事（終了式や卒業式）ができる。登校児童生徒を体育館に集め、自宅のオンラインの児童生徒もPCから参加して 行事をリアルタイムにハイブリットに	体育館に 大型プロジェクター購入	
8	大型プロジェクターで バンドン日本人学校との交流会 をインターネットを通して実現する	体育館に大型スクリーンを制作	
9	大型プロジェクターで 一時帰国生との交流		
10	デジタルカメラを一人一台持たせで写真の共有をする。 オンライン授業の場合はデジタルカメラを家庭に貸与 して撮影した写真を共有	デジタルカメラを購入 10	